

世界農業遺産・阿蘇

「阿蘇の草原の維持と持続的農業」

～世界農業遺産の考え方とその活用～



1. 阿蘇の農業の世界的な価値

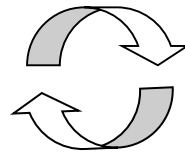
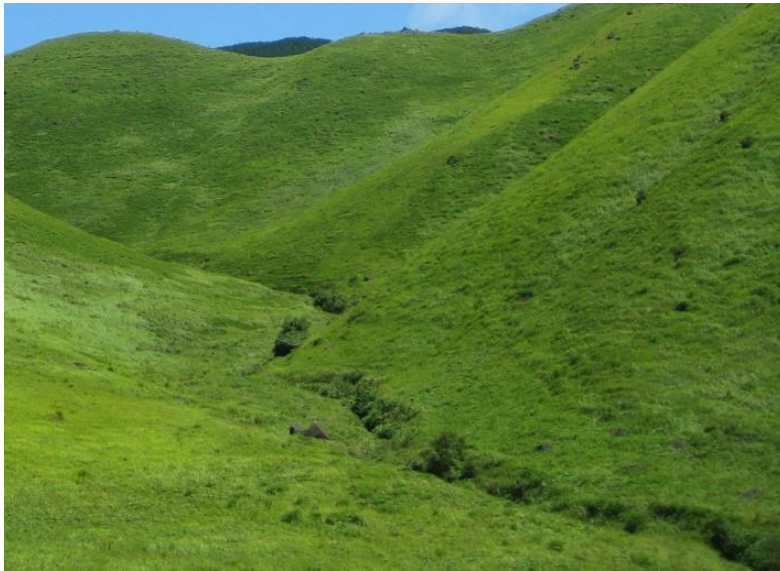
～阿蘇はなぜ世界農業遺産に認定されたのか～



野焼き



“野焼き”により保たれる22,000haの草原



農業活動を通じた草原の管理

飼料

草資源

野草堆肥

干し草

放牧

屋根材

草資源を使った多様な農業

(1) 多様な農畜産業



阿蘇こしひかりなど



あか牛・牛肉



夏秋トマト



トルコギキョウ

あか牛 在来種の褐毛和種



・在来野菜

阿蘇たかな



阿蘇たかなめし

地きゅうり



ひごむらさき



つるのこ芋

(2) 希少な動植物の宝庫



ユーラシア大陸

阿蘇

草原が維持されたことで、日本がユーラシア大陸と陸続きであったことを示す「大陸系遺存植物」が多く残る
→絶滅危惧種が集中している「ホットスポット」の一つ

・ 希少種の一部



ハナシノブ
*Polemonium
kiushianum*



サクラソウ
Primula sieboldii



オオルリシジミ
Shijimiaeoides divina asonis



キスミレ
Viola orientalis



ヒゴタイ
Echinops setifer



ダイコクコガネ
Copris ochus

2.阿蘇の世界農業遺産を次世代に引き継ぐために

～認定を活用した地域の活性化～



組織体制



阿蘇地域世界農業遺産推進協会

○運営委員会

構成: 県・市町村・作業部会担当4団体の代表

役割: ①アクションプラン進捗管理、予算・決算の承認

②部会長の選任等

③その他重要な事項

○作業部会

農林部会

草原景観
部会

自然環境
部会

文化交流
部会

○事務局

構成: 阿蘇地域振興局農業普及・振興課

役割: ①会員意見取りまとめ

②事業実施と予算管理

③広報・啓発 等

市町村や民間団体 独自の取組み

- ・世界農業遺産を活用した農業振興策や観光PRの実施
- ・独自イベント実施
- ・地域勉強会等の開催など

連携

支援

賛助会員

農林部会の取組み

地域の方に世界農業遺産を身近に感じていただく
広く世界農業遺産をPRする
あか牛や阿蘇産農産物の消費拡大を推進



阿蘇世界農業遺産フェアの開催！



草原景観部会の取組み

草資源の利用方法を調査
(家畜のエサ、堆肥、茅材等)

○草小積み再生プロジェクト



景観UP & 堆肥として利用

○茅刈プロジェクト



草原のカヤを刈って売る
⇒冬場の臨時収入

自然・環境部会の取組み

保全・継承が危ぶまれる地域資源を地元住民から募集



伝えたい阿蘇の農業遺産資源として登録(99資源)



資源のPRと保全・継承活動に対する助成



阿蘇のあか牛



観音桜と牧野



池山水源



阿蘇タカナ



阿蘇トウキビの軒先掛け



漬物民宿



ヒゴタイ



山吹水源



杖立温泉「むし場」

文化交流部会の取組み

伝えたい阿蘇の農業遺産の資源を活かし、
都市との交流を図る



阿蘇世界農業遺産フットパスコースを作成
アプリで閲覧できるように！





周知・PR活動(認知度向上)

ホームページやSNS(Facebook、instagram)による 広報活動



ホームページで阿蘇世界農業遺産クイズも実施中！



ロゴマークの活用



対象商品

阿蘇産の農作物または農作物
を使った加工品 等



御静聴ありがとうございました

